



ハイライトよねやま159

1 寄付金速報 — 今年度の送金はお早めに！ —

5月までの寄付金は前年同期と比べて2.6%増、約3,000万円の増加です。普通寄付金が1.5%増、特別寄付金が3.1%増となりました。5月は昨年度に引き続き、名古屋名東ロータリークラブの坂本精志様より、法人寄付として1,640万円の大口寄付をいただきました。

今年度も残り半月です。普通寄付金を上期・下期分ともにまだご送金いただいていないクラブが69クラブあります。普通寄付金・特別寄付金ともに、今年度の寄付実績は6月28日(金)までに当会の銀行口座に入金記帳された分までとなります。ぜひとも今年度最後のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 理事会開催報告

第4回理事会が6月4日、都内ホテルで開催されました。全国から31人の理事と監事2人が出席し、議長は板橋敏雄理事長が務めました。

主な議題として、2013年度事業計画および収支予算が承認されたほか、2014学年度の奨学生採用数(今年度と同じく700人)と募集要項も原案通り承認されました。

また、事務局長人事として、現職の坂下博康が本年6月末で退任し、後任の岩邊俊久が7月から就任することが決定しました(新旧事務局長からのメッセージは次号掲載予定です)。



3 留学生の就職相談会を開催 — 東京米山友愛RC —

東京米山友愛RCが主催する「外国人留学生就職相談会」が5月25日、電気通信大学(東京都調布市)で開かれました。今年で3回目となる就職相談会には、就活中の外国人留学生約30人が参加し、すでに社会人として活躍する先輩から体験談を聞いたり、進路相談をするなど、多くのアドバイスをもらっていました。また、外資系企業の人事担当者を招き、留学生を採用する理由や留学生に期待することなど、企業側の視点に立った



講演もありました。

同RC会員であり、企画者のワンマニ・チャンニャケムさん(ラオス/2006-08/東京府中RC)は、「就職・進学・帰国など、人生の転機を迎える後輩たちにとって有益な情報を提供し、決断の参考としてもらいたい。そしてこのイベントが、東京米山友愛RCの発展につながれば嬉しい」と話しています。終了後、参加者からは「先輩たちが就活の事だけではなく、将来の事、人生の事も相談にのってくれた」「日本の就職活動がより明確にわかった」などの声が寄せられました。

4 優秀米山学友賞表彰式 — よねやま親善大使が誕生 —

6月4日の理事会前に、事業創設60周年を記念して創設された「優秀米山学友賞」の表彰式を行いました。全国の理事・監事が見守る中、82人もの応募者から選ばれた尤銘煌さん（台湾



受賞者の楊さん（左）と尤さん（右）

／2003-04／津島RC）と楊小平さん（中国／2011-12／東広島21RC）には、板橋理事長から表彰状と「よねやま親善大使」の襟が授与されました。

『ロータリーの友』6月号の“よねやまだより”（横組みP.26～27）に、お二人の自己紹介文を掲載していますので、ぜひご覧ください。初の「よねやま親善大使」として、今後2年間、米山記念奨学事業のPRに協力していただくお二人を、どうぞよろしくお願ひいたします。

5 ロータリー世界平和フォーラムで米山をPR！

ロータリー世界平和フォーラムが5月17～18日、広島市内で開催され、世界52の国・地域から約2,800人が参加しました。

米山奨学会ではフォーラム期間中ブースを出展し、2人のよねやま親善大使のほか、広島在住の学友やスタッフが事業のPRにつとめました。また、18日には埼玉県から自費で参加した学友、金福漢さん（韓国／1995-97／大宮北RC）が「平和折り紙教室」を開催。ブースを訪れた新世代の若者たちや海外からの参加者に大好評でした。

全体フォーラムでは、米山学友代表としてジャンプ・ガルバドラッハさんが登壇し、新モンゴル高校を設立して世界の平和に寄与する人材を育ててきた活動を報告。板橋敏雄理事長も「米山記念奨学会の使命」と題してスピーチを行いました。また、昼に開催された「ポール・ハリス・ランチョンミーティング米山」では、東京米山友愛ロータリークラブと東京米山ロータリーEクラブ2750の会員となった米山学友がスカイプで登場し、それぞれの平和への思いを語りました。



今回の活動記録ビデオを、当ホームページにて7月上旬から公開予定です。どうぞお楽しみに！

